

事例

よく噛んで食べる子供の育成 ～かみかみごっくんたのしいね～

社会福祉法人育栄会^{きくがわ}菊川保育園（静岡県）

^{きくがわ}菊川保育園は、静岡県^{きくがわ}菊川市にあり、「よく噛んで食べる子供を育てる」を目標に、食育に取り組んでいます。

乳児期から高齢期に至るまで、噛む、飲み込むなどの機能を担う、歯や口の健康が重要となりますが、^{きくがわ}菊川保育園では、子供たちが食べ物をよく噛まずに食べている状況がみられました。そこで、噛む力の形成と向上のために、子供たちの噛む力の実態を調べる取組をスタートし、その結果を踏まえた評価を行い、発育や発達状況に合わせた食育活動を展開しています。具体的には、畑で野菜を栽培、収穫し、噛む力の向上を意識した料理を作り、食べることで、食べ物の生産から消費までの食の循環を意識した食育を進めたり、子供たちが食材や噛むことなどについて楽しみながら学べるよう視覚的な教材を用いた活動を行うなど、噛む力を育みながら、日々の生活の中で食に興味を持つことができるよう、一貫した取組を進めています。

さらに、子供たちの噛む力に関する調査結果と合わせて、子供の噛み方や食べ方の様子等を保護者に伝えたり、給食参加会を開催し、親子で一緒に料理を作るなど、保育所での子供たちの様子を保護者に知ってもらうことで、家庭での食育につながる取組となるよう努めています。

これらの取組により、子供たちと保護者がともに、よく噛んで食べることの大切さを認識し、食への関心を高めていることが伝わってきます。

今後も、子供たちの発育や発達状況を踏まえ、食に関わる体験が広がるように工夫した取組を展開していきます。



楽しみながら学べるよう視覚的な教材の活用



収穫した大根から、切干大根づくりを体験

第2章

学校、保育所等における食育の推進